

基礎看護学

(令和4年度1年生用)

専門分野

授業科目	フィジカルアセスメント	講師	氏名	権田園美	開講年次	単位・時間		
			所属	専任教員	1年次(後期)	1単位 30時間		
			実務経験	臨床看護師				
科目のねらい	看護におけるアセスメントは、対象の健康状態の情報を収集して、その情報を専門的知識に基づいて分析・解釈し、対象の状況を判断する事である。情報収集においてフィジカルアセスメントは、身体状況を客観的、系統的に把握する方法で、問診・視診・触診・聴診・打診などのフィジカルイグザミネーション技術を用いて行う身体診査である。からだの構造・機能の知識を活用し、対象の情報を正しくとらえ、正常・異常を判断していくための基本的身体診査技術を修得する。さらに、系統的な正常・異常の判断によって対象への対応が決まる。ここで学ぶことは臨床での判断能力の基礎となることをねらいとする。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護におけるフィジカルアセスメントの意義と目的を説明できる。 2. 身体部位の測定及び身体診査の方法(問診・視診・触診・聴診・打診)を説明できる。 3. 身体部位の測定及び身体診査(問診・視診・触診・聴診・打診)が実践できる。 							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体部位の測定及び身体診査(問診・視診・触診・聴診・打診)を実践し、異常・正常の判断ができる。 2. 演習で学んだ知識・技術を様々な対象(小児期、老年期)を想定して考えることができる。 3. 演習で学んだ知識・技術を様々な健康障害を想定したアセスメントを考えることができる。 4. フィジカルアセスメントで判断したことが、日常生活に及ぼす影響を考えることができる。 							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の構造と機能を復習し、目的、方法、根拠を学習できる。 2. 技術修得の為に、演習前後の自己練習を実施し、技術の修得に臨むことができる。 3. 学習に必要な文献検索を行い主体的に学習ポートフォリオに蓄積させ、講義終了後に蓄積された成果物を更に凝集させ、オリジナルなものにまとめ提出できる。 							
科目評価	①定期試験(実技)100% ②定期試験(筆記)70% ポートフォリオ30% 合計100% ①②ともに合格した者を単位取得とする。							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 (メディカ出版) 系統別看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ (医学書院) 系統別看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)							
参考文献	看護技術プラクティス (Gakken) 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス (インターメディカ)							
回数	教育内容	教育方法				講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	到達レベル	その他			
1	1. 看護におけるヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションとは 1) バイタルサインとは	○				権田園美	からだの構造 からだの機能 療養生活援助技術Ⅰ・Ⅱ 呼吸・循環・血液の病を見る 消化及び排泄の病を見る 体の調節と神経の病を見る 運動することと感覚の病を見る 子どもの病を見る 医療現場のコミュニケーション 対象に合わせたフィジカルアセスメント 各専門看護学	1. 演習時は白衣着用アーツルーム 2. 手順書を作成して演習に臨む。 3. 演習後に必ず自己練習を実施 4. フィジカルアセスメントに必要な文献を集めておく。
2	1) 身体計測	○	○	I				事前課題 身体計測方法を調べておく
3	2) 体温測定方法 正常・異常	○	○	II				事前課題: 体温測定方法
4	3) 脈拍測定方法 正常・異常	○	○	II				事前課題: 脈拍測定方法
5	4) 呼吸測定方法 正常・異常	○	○	II				事前課題: 呼吸測定方法
6	5) 血圧測定方法 正常・異常	○	○	II				事前課題: 血圧測定方法
7	6) 意識(意識障害の分類)	○	○	II				事前課題: 意識障害分類
8	7) バイタルサイン測定 (体温、脈拍、呼吸、血圧、意識レベル)		○	II				演習前後に必ず自己練習をする。
9								
10	2. フィジカルイグザミネーションとは	○	○	II				事前課題 フィジカルイグザミネーション
11	1) 問診(コミュニケーション) 視診、触診、打診、聴診 ※ICTを活用したコミュニケーション含む	○	○	II				演習前後に必ず自己練習を実施。
12	3. 呼吸器系アセスメント	○	○	II				
13	4. 腹部アセスメント	○	○	II				
14	5. 脳神経アセスメント	○	○	II				
15	まとめ		○					
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							